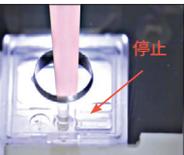


IDEXX 院内尿検査ガイド

手順 1. 検体を準備し、IDEXXセディビューDx*で尿沈渣の検査を行います。

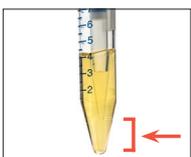
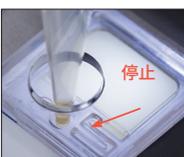
検体がシリンジに入っている場合





- 1 mL以上の検体が必要です。針を専用シリンジチップに付け替え、0.5 mLの空気をシリンジに加えます。
- 検体が混ざるように、シリンジをゆっくり10回転倒混和します。その後、シリンジから空気を抜きます。
- 転倒混和後すぐに、165 µLの尿をカートリッジの注入口にゆっくりと注入し、検査器のスタートボタンを押します。

検体がチューブに入っている場合

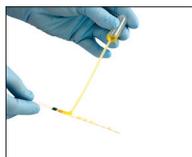
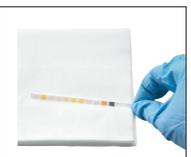
- チューブに蓋をして、ゆっくり10回転倒混和します。
- 転倒混和後すぐに、165 µLの検体をチューブの底3分の1の部分から吸引し、ピペット内に気泡がないことを確認します。
- 165 µLの尿をカートリッジの注入口にゆっくりと注入し、検査器のスタートボタンを押します。

重要:
結晶は転倒混和後すぐに沈殿し始めます。
チューブの底3分の1の部分から検体を吸引してください。その後、チップの周りに付いた余分な尿はキムワイプで拭き取ります。

正確な結果を出すために...

- 新鮮尿が一番!採取後30分以内の尿を使用してください。
- 冷蔵庫で2時間以上保管した場合、尿中に結晶が析出する可能性があります。
- 転倒混和のため、尿は蓋付きのチューブに移しましょう。
- カートリッジに注入する直前に検体を混和しましょう。

手順 2. 検体を準備し、IDEXXベットラボ*UAで尿化学検査を行います。

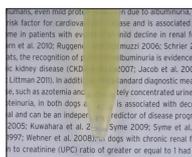

- UA ストリップを尿に浸し、すべてのパッドに浸み込んでいることを確認します。ストリップは曲げないでください。
- ストリップの端や裏面をティッシュに軽く当て余分な尿を拭き取ります。
- すぐにストリップをセットし、スタートボタンを押します。

ポイント:
終了したら、UAストリップを廃棄し、ストリップトレイの汚れをキムワイプで拭き取ります。

尿沈渣塗抹標本の作製方法 (ラインスメア法)

- 尿を遠心分離器にかけます。次に沈渣部分が残るように上清を捨て、チューブの底を指で軽くたたき、有形成分を再懸濁します。
- スライドガラスに懸濁液を1滴垂らします。
- 清潔なスライドガラスをもう1枚用意し、滴下した懸濁液の前に約30~40度の角度でスライドガラスを置き、濁液をスライドガラスの縁に沿わせませます。
- 上のスライドガラスを、下のスライドガラスの縁のほうに動かして懸濁液を広げます。
- 下のスライドガラスの中央あたりで塗抹を引く作業を止め、上のスライドガラスをそのまま垂直に引き上げます。これにより、引き終わりに細胞が線状に集まります。
- スライドガラスを完全に風乾した後、一般的な塗抹用染色液 (Diff-Quick* など) を用いて染色し、顕微鏡で観察します。

手順 3. 物理的性状の評価を行います。




- 検体の色調と透明度、混濁の有無を目視で評価します。
- 屈折計に尿を1滴垂らして、尿比重 (USG) を測定します。
- IDEXXベットラボ*ステーションに物理的性状の結果を入力します。

ポイント:
屈折計は定期的に再校正することが重要です。

細菌確認キットの使用法

- IDEXXベットラボ*ステーションの「院内検査」リストから患者を選択し、「追加検査」→「SediVue Dx」アイコン→「細菌の確認」→「結果の追加」。
- 十分に混和された165 µLの尿を、新しいチューブに分注します。
- R1試薬 (赤色キャップ) を1滴チューブに添加し、5回転倒混和します。
- R2試薬 (青色キャップ) を1滴、更にチューブに添加し、5回転倒混和します。
- 混和した検体から165 µLを取ってカートリッジに注入し、スタートボタンを押します。

手順 4. 結果と画像を評価します。

尿沈渣画像はとても重要で、常にセディビューDxによる半定量結果と合わせて確認する必要があります。

半定量結果と画像、臨床兆候のパターン:	考慮すべき事柄:
「検出されない」または「存在すると推測される」、画像で細菌が見られない、臨床的兆候なし	細菌尿の可能性は低い。尿沈渣塗抹は必要ありません
「存在すると推測される」、画像で細菌が見える、臨床兆候あり/なし	尿沈渣塗抹を確認します (右の手順を参照)。患者が持続的に慢性尿路感染症を示す場合は、尿培養および感受性試験を検討します。
「存在すると推測される」または「存在する」、細菌が明らかに見えている、臨床兆候あり/なし	尿培養および感受性試験を検討してください。尿沈渣塗抹は必要ありません
以下の場合、希釈測定が推奨されます。	以下の手順で希釈します。
・検査前: 明らかな血尿、混濁	1. 検査の手順で「希釈測定」をタップし、目的の希釈倍率を指定して「測定」または「結果の追加」を押します。
・検査後: 画像で沈渣物が多く、有形成分が密集している混濁	2. チューブに、十分に混和された検体と0.9%生理食塩水を選択した希釈倍率になるよう入れ、10回転倒混和します。 3. 希釈した165 µLの検体を、すぐにカートリッジの注入口に注入します。 4. 検査器のスタートボタンを押します。半定量結果は、入力された希釈倍率をもとに希釈前の検体での数値に換算して示します。

